

ひとりにつけられて、じぶんでよめちゃう腕時計



ふんぷんくろっくが育む時間感覚

お子さんが時計に興味を持った時が始めどき！

「10・11・12」の数字の表記は、
子どもが見ても隣の数字同士を
混同しないよう、配慮しています

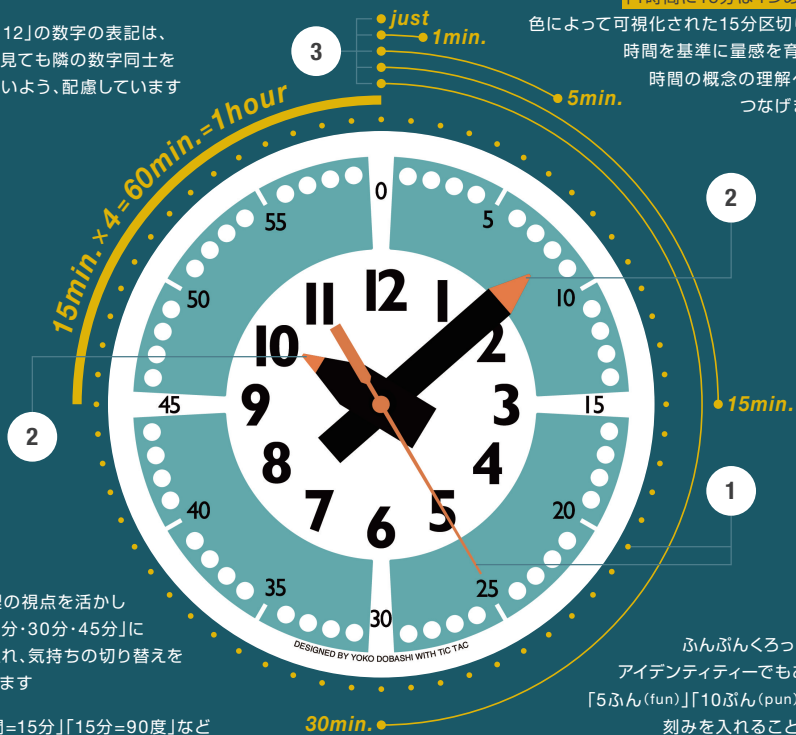
【1時間に15分は4つある】

色によって可視化された15分区切りの
時間を基準に量感を育み、
時間の概念の理解へと
つなげます

色彩心理の視点を活かし
「0分・15分・30分・45分」に
余白を入れ、気持ちの切り替えを
促しています

「1/4時間=15分」「15分=90度」など
分数の理解や、角度の理解にも発展できます

ふんぷんくろっくの
アイデンティティーでもある
「5ふん (fun)」「10ぷん (pun)」の
刻みを入れることで、
音読する楽しさをサポートします



point

1

子どもが「動いている」と認識できる秒針を指差して、一緒に60個のドットを指で数え、1周して元の位置に戻ることを確認します。現代の生活では知る機会が減っていますが、1秒の感覚を知ることは、時間の最小単位を知ること。わかりやすいように刻む動きのムーブメントを採用しています。5ごとに表示された数字を、強調して読むようにしてみてください。

point

2

ずっと動いている秒針の他に、長い針と短い針があって、実はどちらも見えにくいけれど、動いていることを伝えます。長い針は「分」、短い針は「時」を示すことを伝えます。長い針は、細くて長く、秒針が1周したら「1」進んでいることを確認します。短い針は、短くて太くて、ゆっくり進みます。長い針が1周すると、短い針も「1」進むことを伝え、「ぴったり」の時刻になる瞬間を一緒に共有してみてください。

point

3

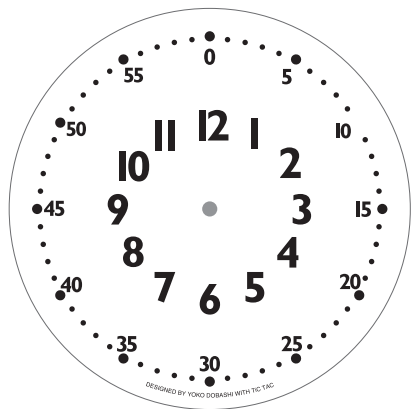
「ぴったり」「30分」「15分ずつ」「5分ずつ」「1分ずつ」の順に、お子さんの様子を見て、時計を生活の中で一緒に読む場面を増やします。

point

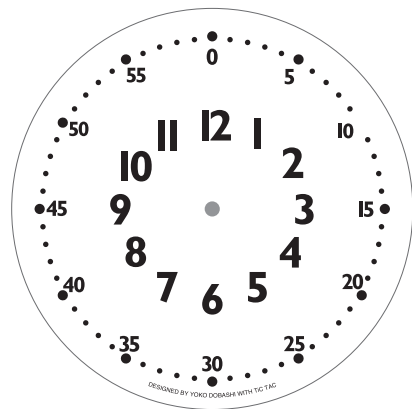
4

時間感覚を育てる静寂ゲームもおすすめです。お風呂に入る前など決まった時に、部屋を静かにして座って目をつむり、1分経ったと思ったら立ってみる。静かな時間を過ごすことで、普段聞こえていない鳥の声や、遠くから電車の音などが聞こえ、小さな子どもは喜びます。正解を求めるといよりも、心の持ち方で「感じる1分」は日々変化することを楽しんでください。楽しむことで「時間」について意識をするようになります。

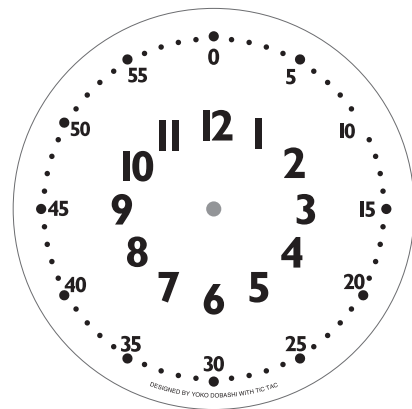
次ページのメモパッドも是非ご活用ください！



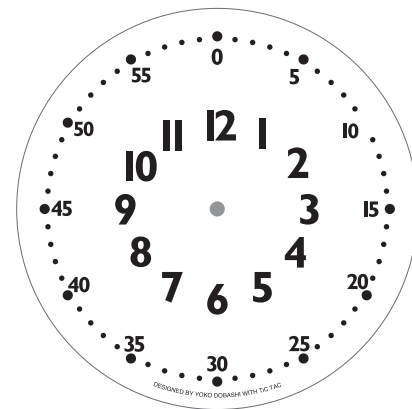
じ じいん



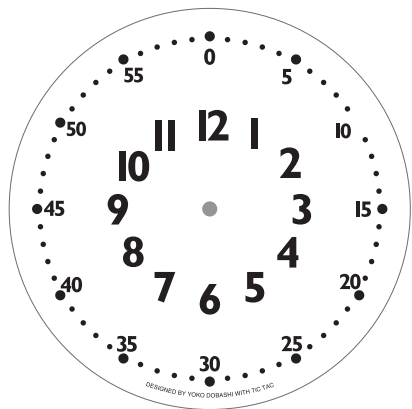
じ じいん



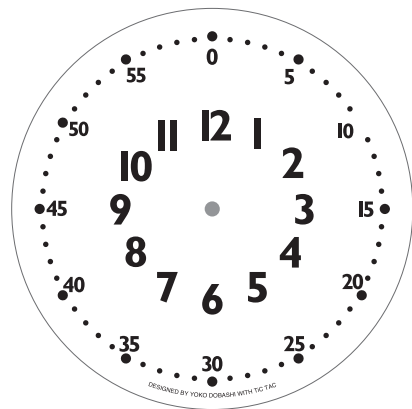
じ じいん



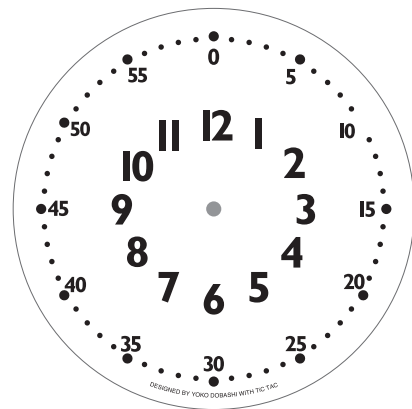
じ じいん



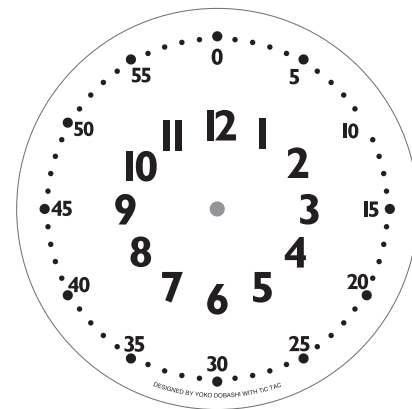
じ じいん



じ じいん



じ じいん



じ じいん

